

議会だより

かみかわ

No.91

10/13

2026



きらめく、
青春。

特集 5分で分かる 町の財政状況 (P3~4)

表紙紹介

青春、全開！ 中学校体育大会

9月19日(土)に第16回神河中学校体育大会が開催されました。

生徒たちは日々練習に励み、特に3年生は生徒会メンバーや連合リーダーが中心となり、夏休み期間中も学校に集まってダンスを考えるなど、準備に力を入れてこられたそうです。

当日は、生徒それぞれが練習の成果を存分に発揮され、全力で挑まれていました。その姿を見ている私たちも白熱する、そんな体育大会でした。

全力

笑顔



感動

題字 紹介

神崎小学校4年

にしかわ ゆず

西川 結鈴 さんが書きました！

応募いただいた皆様、
ありがとうございました！

応募いただいた作品の中から抽選の結果、西川結鈴さん（猪篠区）の作品を採用しました。
西川結鈴さんに題字を書いた感想等を伺いました。



題字を書いてみて

「み」のバランスを
きれいにとることが
できました！

学習の秋！

今年の秋は
苦手な教科を頑張る！

新しい本、読みたい！

学校の図書室に
新しい本をたくさん
置いてほしいです！

議会だより第92号の題字を募集！



町内在住の小中高生で、議会だより題字の「かみかわ」を書いていただける方を募集します。長半紙（書初め用紙）に横書き・ひらがなで「かみかわ」と書いていただき、応募用紙とともに議会事務局に持参ください。応募作品の中から抽選で決定します。採用時に、顔写真の撮影をさせていただきます。応募お待ちしております！

【募集期間】

令和8年11月30日まで



◀ 応募用紙
ダウンロード先

町の財政状況

ここでは、令和7年度の財政状況と監査委員の監査結果を解説します。令和7年度決算認定を審議した決算特別委員会の審議内容は5、6ページに掲載しています。

神河町の財政を見る4つのポイント

※()は令和6年度の類似団体の平均値

財政力指数

0.35

(0.44)



「1」に近いほど
財政力がある。

経常収支比率

93.1%

(89.2%)



数値が高いほど、
政策に使えるお金
が少ない。

実質公債費比率

12.3%

(8.1%)



数値が高いほど、
ほかの事業に充て
る財源を圧迫。

将来負担比率

28.8%



数値が高いほど、
今後の財政を圧迫
する可能性が高い。

Check!

神河町は類似団体よりも

財政力が低く、政策に使えるお金が少ないと言えます。



適正な処理と認めました！

令和8年7月に監査委員2人で決算審査を行い、決算計数は適正に処理されていると認めました。監査委員の意見（要旨）は下の①～⑩です。

1

契約事務は競争性・経済性・公平性・透明性の確保を。

2

補助金交付団体の会計処理の適正化と補助金成果の検証を。

3

収支見込調書の精度向上を。繁忙期はより精度向上意識を持つように。

4

内部統制システムの運用徹底と、事務マニュアル等の一層の整備を。

5

職員の適正配置や業務効率化で、超過勤務を常態化させないように。

一般会計 109 億円はこんな事業に使われました



粟賀小学校跡地

図書コミュニティ公園の整備

750万9,000円

(総事業費10億5,126万1,000円)

幅広い世代が交流できる地域交流拠点が整備されました。

中播消防署北部出張所の移転建替え

3 億989万3,000円

(総事業費 4 億3,650万6,000円)

施設老朽化や緊急車両到達時間の短縮に対応するため市川町から移転されました。



食べ盛り応援神河米給付事業

979万円

子育て支援と町内産米の消費拡大を目的に小中学生1人当たり30kgのつきあかりを給付しました。(左の写真はR8年撮影)



寺前幼稚園の長寿命化改良工事

1億4,072万6,000円

施設を長く安全に使用できるように屋根のふき替えや床フローリング更新、照明LED化、トイレの洋式化などを行いました。



とうご ひでき
藤後 秀喜 代表監査委員
まつおか のぶひこ
松岡 宣彦 議会選出監査委員

決算審査とは？

収入、支出等が適正に行われ、金額等に誤りがないか、事業が適正かつ効率的に行われたかを審査します。

6 備品管理台帳の精度向上と、より精緻な財産管理を。

7 入札によらない物品購入等も見積書を徴求し支払額の妥当性の検証を。

8 窓口での現金取扱いは、公金取扱マニュアルに基づき対応を。

9 事務事業進捗管理シートの活用を徹底を。

10 人事評価制度の効率的な運用を。

住民福祉向上を念頭に、議員が斬り込む

9月7日の本会議と9月14日の決算特別委員会で令和7年度各会計決算を審議しました。
ここでは、主な審議内容をピックアップして紹介します。

企業誘致の考え方は？

町は、サテライトオフィス誘致事業で4社の活動支援を行いました。
この事業については、13ページに議論を掲載していますので、あわせてご覧ください。

Q 町長は町外で働き、住むのは神河町、
企業誘致はサテライトオフィスに的
を絞ると言われているが、サテライトオ
フィス誘致は雇用の場の創出につながる
のか。

A 働く場は姫路方面で、住むのは豊かな自然のある神河町でと思っている。
雇用規模500人の企業1社より5人の企業を100社つくることを目指している。
若い方が起業できるよう支援する。

議員の着眼点

この事業は、町が企業を最長3年間支援し、4年目にはサテライトオフィスを設置していただくものであるが、設置につながるかは不確定である。事業の目的である雇用の場が創設できるように、企業との連携をより一層深め、事業評価を行うことを求めました。

サテライトオフィス設置支援企業一覧（下記）

企業名（サテライトオフィス設置予定年度）・事業内容



株式会社ビートバップ（令和9年度）
・デジタルスキルを活用した事業展開

1



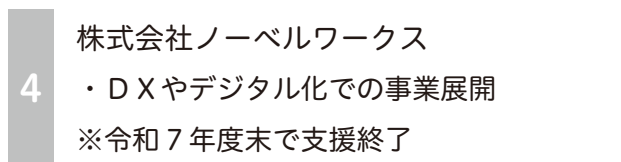
合資会社ブルーケトル（令和10年度）
・町のふるさと納税事業の拡大

2



一般社団法人H I T O T O（令和10年度）
・空き家の利活用（13ページに写真掲載）

3



株式会社ノーベルワークス
・DXやデジタル化での事業展開
※令和7年度末で支援終了

4

医師、職員が一丸となり、病院経営改善を

公立神崎総合病院は、令和5年から3年連続で赤字経営となっており、持続可能な病院経営のためには早急な経営改善が求められています。経営改善の決意を執行部に問いました。

Q 赤字の続いた赤穂市民病院は、市職員給与3%カットと市直営から指定管理者制度に移行することになった。同じく赤字が続く公立神崎総合病院であるが、経営改善に対する決意を。

A 令和8年度から医師に対し人事評価を導入する。研究手当にも差をつける。病院の規模、診療内容も含めた議論を始めており方向性を出す。



経営改善への本気の取り組みを求める

議員の着眼点

経営改善の進捗状況から危機感が伝わってこない。令和8年3月31日に提出された病院改革委員会の報告6項目（医業収益の確保、病床運営の改善、患者サービスの向上など）を真剣に取り組まなければ、経営破綻してしまう。

子ども会の運営が厳しい

Q 町の子ども会の活動状況はどうか。少子化で子どもの数が減少し、各集落の秋祭りでの子ども神輿の運営が厳しくなっている。子ども会の組織率が半分以下となっている状況で、地域で子どもを育てていくことをどう考えているか。

A 現在40集落中15集落が町の子ども会に加盟している。保護者の考えは「球技大会はもう開催しない」である。

しかし、代替のアジャタ大会等への参加も芳しくない。陸上競技等の子どもが参加している団体等への支援を考えたい。

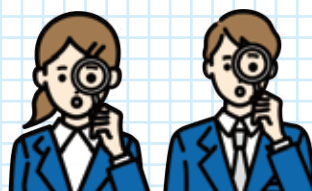
戸籍の振り仮名記載の進捗は？

令和7年に法改正があり、戸籍に振り仮名を記載するようになりました。

Q 昨年、1年間の訂正実績は。また、振り仮名の訂正は今後も可能か。
(例:「シユウイチ」→「シュウイチ」)

A 7,816件の通知を出し、氏の訂正依頼が35件（町内10件）、名の訂正依頼が183件（町内87件）あった。今後、訂正は12月以降なら1回に限り、役場で受け付ける。2回目以降は裁判所での手続きが必要である。

町民は知っておきたい！



決めたことを
分かりやすく
解説します

9月定例会の注目ポイント

令和8年9月定例会が9月2日から29日まで（28日間）開催され、提出された議案計39件は慎重審議の結果、全て可決しました。ここでは、主な審議内容をピックアップして解説します。

YouTubeで本会議の様子を公開中！



9/2
定例会1日目



9/7
定例会3日目



9/29
定例会最終日

補正
予算

後期高齢者臨時給付金支給、始まる



可決
(全会一致)

物価高騰対策として、75歳以上の後期高齢者に1人当たり5,000円の臨時給付金を支給することが決定しました。11月から確認書が送られます。このことについて、質疑がありました。

Q 国の重点支援地方交付金、約718万円と町の一般財源627万円の合わせて約1,345万円を活用して、後期高齢者の支援を行うが、支援対象の選定理由を教えてください。全世帯への給付も考えられたのか。他に使い道の候補があった中で後期高齢者への支援を決定されたのか。

A 支援対象の選定は、役場内で協議した。コロナ以降、様々な交付金を活用しているが、これまでは子育て関係への支援が多かった。そのため、今回は高齢者への支援ができないかということで、町の財政負担も考えながら支援対象を選定した。

Q 今後、国などから同様の臨時交付金があった場合、支援する対象は現時点で決まっているか。

A 今後の事業は、そのときの交付額によって内容を検討したい。現状では、次の交付金の使い道は決まっていない。

議員の着眼点

できれば広く、まんべんなく支援することが理想であるが、その都度、一番必要な方に支援が届くよう検討を。



補正
予算

適切な予算執行を

可決
(全会一致)

神崎農村公園ヨーデルの森での落雷対策として、落雷時にブレーカーを落として安全を確保する工事予算を確保していましたが、令和8年度中に工事を完了することができないことから、工事予算926万2,000円を減額しました。このことについて、執行部から令和9年度に工事着工できるよう進めたいと説明があったことについて質疑がありました。

Q 今回予算をなくす一方、現在の業者と「令和9年度に予算をつけて工事をお願いする」という話を進めることに問題はないのか。予算がないのに業者と事実上の約束をし、翌年度に予算成立後、随意契約するのは町民から見て不透明ではないか。

A 予算の裏付けがない状態で、業者と口約束をして工事を進める考えではない。令和9年度の予算が成立してから、正式に協議を進める予定である。



令和5年に議会で落雷調査をしています

追認

議決せずに変更契約を締結

可決
(全会一致)

令和7年6月定例会で、寺前幼稚園の長寿命化改良工事を1億3,090万円で㈱片岡建設と契約することを可決しました。その後、工事の追加や変更などにより、令和7年12月に変更契約を締結しました。

しかし、予定価格5,000万円以上の工事の変更は、変更契約の締結前に議会の議決が必要です。今回は議決を受けないまま変更契約を締結したため、追認議案が提出され、審議しました。このことについて、議会では再発防止を強く求めました。



追加した排水設備工事

12月定例会(本会議)の日程

- ・12月2日(水) 定例会(提案・質疑・採決)
- ・12月4日(金) 総務文教常任委員会(付託)
- ・12月10日(木) 定例会(一般質問)1日目
- ・12月11日(金) 定例会(一般質問)2日目
- ・12月17日(木) 定例会最終日(採決)

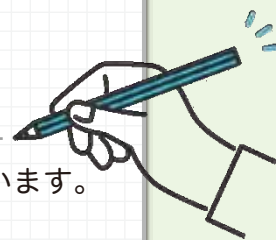
審議結果はこちら



▲定例会のその他の審議結果は町HPに掲載しています

常任委員会の報告レポート

常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査を行っています。
ここでは8月に実施した調査について紹介します。



総務文教

常任委員会

調査内容

総合計画、財政、教育、文化、税金など

92問

8月の総務文教常任委員会で議員から出た質疑や意見、提案の総数です。ここから5問をピックアップしました！

教育課

長谷小に特認校制度導入 今後の行方は毎年検討

長谷小学校の今後の在り方について、町は学校教育審議会の答申をもとに存続や統合を検討する方針です。ここでは、特認校制度導入について議論しました。

Q 長谷小への小規模特認校制度導入の目的は。養父市では、演劇や英語に力を入れている。PTA・学校・教育委員会が一体となって教育的価値を協議し、特色を練った上で募集すべきと考えるが、町の見解は。

A あくまでも目的は、複式学級の解消を目指すことである。新たな特色づくりには学校運営上の負担や調整、費用が伴うため、現在の教育目標や教育課程を特色として扱う。「個性の伸長を図り、心豊かで自立する児童を育てる」という長谷小の教育目標を基本的に継続する考えである。

Q 制度導入後、どのように見直していくのか。また、長谷幼稚園の今後は。

A 出生数や転入、制度利用状況を確認し、学校統合も視野に、制度の継続または廃止を毎年度検討することとなる。

長谷幼稚園は、園児が3人を下回ると休園になる。

小規模特認校制度とは？

神崎小、寺前小の校区に住む児童が希望すれば長谷小に通うことができる制度。



保護者らが長谷小の在り方を議論



総務課

若者や女性の声が町政に届く仕組みを

20年後、30年後も役場で働く若手職員が中心となり、人口減少が進む神河町の将来や持続可能な行政・まちづくりを考える「神河みらい創造プロジェクト」について質疑がありました。

Q

このプロジェクトが目指す町の将来像とは。

A

地域や住民の暮らし・思いを大切にしながら、町の仕組みや事業を見直し、規模を縮小しつつ必要なサービスを充実させる「縮充」のまちづくりを目指す。若者や女性など、幅広い住民の声を町政に反映する仕組みも検討する。



縮充の先進地「佐用町」の職員と意見交換

縮充の推進には住民の理解と協働が不可欠

病院改革推進室

待ったなしの経営改善

Q

“給料が払えなくなれば病院がなくなる”という危機感を持ち、もっと精力的に改革を進めるべきではないか。

A

現金が回らなくなれば倒産と同じである。病床利用率の向上に加え、検査・リハビリ・レントゲン部門の技師数や利用状況を検証し、11月までに結果が出るように追い込んでいく。

給食センター

給食を食べていない 13人への支援は？

Q

現在、学校給食を食べていない児童・生徒の人数と支援状況は。

A

人数は、小学生6人、中学生7人の計13人である。理由は、区域外就学、私立中学校、特別支援学校、家庭事情などである。対象者全員を把握し、個別に給付金申請書を郵送している。辞退者はいるが、支援案内の漏れはない。

81 問

8月の民生福祉常任委員会で議員から出た質疑や意見、提案の総数です。ここから4問をピックアップしました！

住民生活課

生ごみ処理容器の助成、伸び悩む

町では家庭から出る生ごみはゼロを目指していますが、生ごみ処理容器（コンポスト）助成の件数が年々少なくなっています。助成が伸び悩んでいる状況で、この事業をどのように住民へ啓発するのかについて質疑がありました。

Q 生ごみゼロに向けて、住民の意識啓発はどう進めるのか。

A ごみの投入量によって事務組合への各町の負担金が違ってくる。そういった観点からも新ごみ処理施設への移行を機に、生ごみ削減や資源ごみのリサイクル、コンポスト補助制度などを含めて、住民説明会や広報などで周知を図っていく。

Check!

生ごみを減らすために

町では、家庭から出る生ごみを減らすため、生ごみ処理容器（コンポスト）の購入助成を行っています。最大3万5,000円の助成を行っています。詳しくは、QRコードからご確認ください。



新ごみ処理場工事は順調に進んでいます（市川町浅野地区）



上下水道課

漏水修繕をしているが、有収率は上がらず

夏場は気温の影響で水道管の漏水が多発します。修繕件数は1日平均4件で、町職員が対応しています。安定して水道水の供給が行えるよう、漏水箇所の実態について質疑がありました。

Q 現在、漏水箇所がどのくらいあるか把握できているか。

A 地表での漏水は住民からの通報などですぐに分かるが、地中で漏水しているものも多く、有収率が大変低くなっている。そこで、人工衛星を使った漏水調査を行い修繕したが、改善しない状況である。管路更新を含めてどれだけ改善できるか、検討が必要。

漏水発生時は「上下水道課」に連絡

☎ 32-0966

有収率とは？



浄水場から出た水道水のうち、料金として収入になった水の割合。有収率が低いと漏水が多いことになる。



地表での漏水は発見しやすい

健康福祉課

困っている人に支援を

Q 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等、従来からの縦割りの支援に対し、複雑化した困りごとを支援する国からの交付金がある。当町はどう取り組むのか。

A 交付金の活用まで協議していないが、重層的支援会議を立ち上げ、分野を超えた支援（例：親の介護と子育ての両立に悩んでいる場合など）について関係部署と協議を進めていく。

公立神崎総合病院

貴重な住民の意見

Q ブロック別 町長懇談会に病院長や副院長、事務方も出席したが、その感想はどうか。

A 地域の方から生の意見をいただくのは貴重だと感じた。困ったときに連絡ができ、応急・緊急的なアドバイスがもらえる、安心とケアが受けられる病院であってほしいという思いを感じた。

NEXT 産業建設常任委員会

115問

8月の産業建設常任委員会で議員から出た質疑や意見、提案の総数です。ここから4問をピックアップしました！

ひと・まち・みらい課

企業誘致、その先に何を残す？

若者の町外流出を防ぐため、町では企業のサテライトオフィスを誘致し、町内で働ける場の創出を目的とした事業を令和7年度から実施しています。この事業は国の財政支援（公金）を受けていますが、公金の使い方と事業成果の見える化について議論しました。

Q この事業に公金がどう使われているのか疑問がある。公金を使う以上、各事業者の達成目標と年度ごとの実績、それに対する町の評価を明確にし、住民や町内事業者に事業成果を説明できるようにしてほしい。

A 7年度は、点数的な評価はできていないが、目標に合わせて動いていただいていることに対して評価している。今後、点数評価も検討したい。この事業は基本3年間であり、事業者はこの期間内に町内で事業展開が可能かを見極める。

Q この事業の目的は町内の雇用の場の創出であるが、事業者の計画には雇用のことが書かれていない。それでは事業を実施する意味がないのではないか。

A 町内の雇用の場の創出は、サテライトオフィス設置のみではなかなかできない。町の課題を解決することが仕事になると、それを事業展開していくことで雇用が生まれると考える。



(一社)HITOTO
空き家を借りて町のPR動画を撮影

**「何社誘致した」ではなく、
「町に何が残ったのか」**

町内で何人の雇用が生まれたのか、何事業者が町内に残ったのか、若者の就職やUターンにつながったのかなど、具体的な指標で成果を検証し、評価することが求められます。議会では、若者が帰ってこられる町、町内で働き続けられる町をつくれるよう今後も事業の評価・検証を行います。





農林政策課

大好評！神河米の給付、これからも継続を！

食べ盛り応援神河米給付事業は、町内の小中学生1人につき30キロの町産米を配布するもので、令和6年から3年間、試験的に実施しています。令和8年で3年目となることから4年目以降の事業継続について質疑がありました。

Q この事業で給付していたお米「つきあかり」の生産を今期で止められるということだが、事業は継続するのか。

町民の声

我が家でもお米を作っていますが、子どもが多く、1年分には足りません。いただいたお米を合わせると、ちょうど1年分になり、本当にありがたいです。食べ盛りの子どもたちなので、今後も続けていただけると嬉しいです。

野崎さん一家（寺前区）



A コシヒカリなどの町産米を活用する方向で検討している。今年1年をかけて方向性を決めたい。

町民の声

給付はとてもありがたいです。特に我が家はお米を作っていないので助かっています。ただ、一番の食べ盛りは高校生なので、18歳までを対象にしていただけると、よりありがたいです。

谷総さん一家（福本区）



ひと・まち・みらい課

便利で安全な公共交通を

現在、町の公共交通ではコミュニティバスとデマンド型交通を運行していますが、公共交通の再構築について説明があり、それについて質疑がありました。

Q これまでのコミュニティバスやデマンド型交通の在り方をどのように見直し、今後どのような交通体系を目指すのか。また、新しい方向性はいつ決まるのか。

A コミュニティバスを一定残しながら、タクシー助成や福祉有償運送の活用も視野に入れ、誰もが何らかの移動手段を選べる仕組みを目指したい。

令和8年度中の早い時期に方向性をまとめることを目指している。

町政の“ここ”が知りたい！

一般質問

ここでは、各議員の主な質問と答弁を要約して掲載しています。

QRコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画をYouTubeでご視聴いただけます。ぜひご覧ください。

ケーブルテレビ再放送日

木村秀幸議員 11月3日(火)午後7:00～

小島義次議員 11月3日(火)午後8:00～

吉岡嘉宏議員 11月4日(水)午後7:00～

京極歌織議員 11月4日(水)午後8:00～

関口 裕議員 11月5日(木)午後7:00～



質疑（議案質疑）と
質問（一般質問）、何が違う？

Q

A

質問できる範囲と
回数に違いがあります。



質疑は、本会議での議案の説明だけでは分からなかったことを質問するものです。質問回数は3回を超えることができないと規定されています。

一般質問は、町政全般に関わるさまざまなテーマについて、町の方針や事業の計画、効果などを問いたですものです。質問回数に制限はなく、60分以内に予定した質問を行います。

危機感が感じられない



き むら ひで ゆき
木村秀幸 議員

ひとこと

備えあれば患いなし！
町民ファースト！

Q

公立神崎総合病院に対し住民や利用者からの大変厳しい声を把握しているのか。

A

町長 厳しい意見は把握しており、医療安全や職員対応の改善に取り組んでいる。今後も住民の声を受け止め、信頼回復に努める。

Q

病院の現在の資金状況と今後の見通し、資金不足時の町の対応は。

A

病院事務長 経営は非常に厳しく、令和7年度は約5億6,700万円の純損失である。資金は約11億2,500万円で、令和8年度には約6億8,000万円減少し、令和9年度中には資金が枯渇する可能性がある。

A

町長 町としては、一般会計からの繰出金として年間3億6,000万円を基本とする。何と言っても今年が勝負の年ということで、危機感を持って取り組まないといけない。

令和7年度 経営・財務分析

項 目	比 較		県下 公立病院 平均値
	R7年度	R6年度	
1日当たりの 入院患者数	98.3人	108.8人	208.6人
1日当たりの 外来患者数	355.4人	366.4人	519.0人

入院・外来ともに患者数が減少
危機感を持って経営改善を！

危機感ある環境づくり

こ じま よし つぐ
小島 義次 議員

ひとこと

未来への危機対策が
必要不可欠な時代です



感震ブレーカーの設置推進を

Q 地震後の通電火災を防ぐため、感震ブレーカーの設置を。特に、高齢者、一人暮らし住宅では必要性が高いと思うが。

A 防災特命参事 設置の課題がいくつかあるが、地域の出火防止につながる実効性のある支援の在り方を検討し、必要な対応を進める。

詐欺被害防止対策の周知を

Q 高齢者への詐欺被害防止対策として、具体的な取組や詐欺の種類・見破る方法などを小冊子として配布しては。

A 防災特命参事 冊子は情報の風化が早い。リアルタイムでの注意喚起やホームページ等で最新情報提供をしていく。

A 教育課長 中学校では情報教育でSNS被害防止スキルを学んでいる。

中学校部活動の地域展開を

A 教育課長 町の将来や少子化も見据えて、存続可能な部活の種目や近隣市町との合同チームとの再編などを検討し、まず土日休日から地域展開できるよう模索していく。



練習に励む吹奏楽部

事業のスリム化で 健全財政を

よし おか よし ひろ
吉岡 嘉宏 議員



(株)神崎フードと町の今後のあり方

Q 米飯加工施設の(株)神崎フードは、地域農業の振興発展を目的に設立されているが、町内産の米はほとんど使われていない。町内の有力な勤め先であることも理解しているが、第3セクターという形態から独立した企業という形にできないか。

A 農林政策課長 フードセンターの建物、設備の改修も視野に入れ、慎重かつ速やかに方向性、方針を出す必要があると考えている。

兵庫県の財政悪化による町への影響

Q 県の工事で測量設計、用地買収ができていながら、何年も工事着手しない例がある。このたびの県の起債許可団体への移行により10%の投資的経費の削減が報道されたが、これを理由としたさらなる延期はやめてほしいが。

A 町長 土木事務所とは継続事業は最優先してやりきる旨の確認を取っている。今後もしっかり要望していく。



工事着手されない県道加美穴栗線（上小田地内）



子どもの声を町政へ

きょう ごく か おり
京 極 歌 織 議員

ひとこと

安心して意見を言える
環境と仕組みづくりを

Q 町は年齢や発達に応じて子どもの意見を聴き、施策に反映する必要があると考えるが認識は。

A 教育課長 町もその認識である。

Q 学校生活や教育に子どもの意見を活かす仕組みは。

A 教育課長 児童会や生徒会と協力し、町へ意見を伝える機会をつくる。他市町の手法も研究する。

Q まちづくりに子どもの声を反映させる仕組みは。

A 教育課長 これまでも将来ビジョンや長期総合計画などで子どもの意見を反映してきた。今後も事業の目的に応じ、効果的な意見聴取の方法を検討する。

Q 子どもの意見に対して町が結果を返す仕組みと、子どもの声を聴く側の人材育成を研究・検討に取り入れては。

A 教育長 子どもの言葉だけでなく、背景にある思いや視点を大人が受け止めることが大切である。他市町の事例も学び、子どもの意見の受け止め方や整理して結果を返す方法、声を聴く側の人材育成について研究・検討していく。



▲こども家庭庁YouTube



移住契約はスムーズに

せき ぐち ゆたか
関 口 裕 議員

ひとこと

平等な町政の実現には
不平等な施策も必要

Q 移住希望者が住まいを探すときにスムーズに地域情報が入手できる方法は。

A ひと・まち・みらい課長 移住定住サポートセンターは、宅地建物取引業免許を有していないため、不動産の売買等は、町内の不動産業者と密に連携している。

一方、町外の不動産業者との連携は、複数の仲介業者が関わる場合もあり、困難な状況である。なお、町外の不動産業者から問い合わせがあった場合、必要に応じて連携を図ることは可能である。

中心部から離れた地域への生活支援

Q 長谷・川上地区の村営ふれあいマーケット2店が9月に閉店した。中心部から離れた地域では商業エリアまでの移動が負担になっている。移動販売車の運行や買い物支援等は検討しているか。

A ひと・まち・みらい課長 現時点で町が支援する計画はない。民間事業者で移動販売車の運行や宅配事業等も実施されており、町としては、民間事業者と行政の役割を分担し連携する中で住民サービスに繋げていきたい。



住民に役立つ移動販売車

\\ うれしいニュース! //

私たちの議会だよりが
高く評価されました!

他市町議会から 議会だよりの視察に来られました!



町民目線で分かり
やすい議会だより
になるように意見
交換しました!
(写真は日出町議会)

7月に県内外の議会の皆さんが当町議会だよりの取組を参考にしたいとのことで、視察に来られました。

今回は、3つの議会から議員の皆さんが来庁され、議会だよりの編集方針やデザイン、工夫点などについて、熱心に意見交換を行いました。

来庁された議会の皆さんからは「見やすく工夫がされている」「町民目線で分かりやすい」など、うれしいお言葉をいただきました。

今後も、読みやすく、分かりやすい議会だよりを目指して、よりよい紙面づくりに取り組んでいきます。

視察に来られた議会

- 1 こうたちょう
愛知県幸田町議会
(令和8年7月3日)
- 2 ひじまち
大分県日出町議会
(令和8年7月8日)
- 3
兵庫県朝来市議会
(令和8年7月10日)

皆様のご意見をお聞かせください!



町民の皆さんの声を大切にした紙面づくりに
取り組むため、アンケートにご協力をお願いし
ます。忌憚のないご意見をお寄せください。



▲議会だより
アンケート



#かみかわイイネ



林田直子さん親子
(福本区)



直子さんと幸ノ助さん

林田直子さん、龍ノ助さん、幸ノ助さんの親子3人が
議会の常任委員会を傍聴されました。子どもの傍聴は
初めてです。将来有望な兄弟にインタビューしました。

Q 傍聴してみて一番の印象に残ったことは。

A 龍ノ助さん 給食の異物混入について、
あんなに話し合いをするとは思わなかった。

Q 自分が議員だったら何をしたいですか。

A 幸ノ助さん みんなのためにがんばりたい！

Q 10年後、どんな町になっていてほしいですか。

A 龍ノ助さん みんなが笑顔で楽しい町！
幸ノ助さん おもしろい町！

直子さんの一言

難しい話で子どもたちもどこまで理解できるか分かりませんでしたが、給食や福本遺跡、学校のことに関心を持ち、耳を傾ける様子が見られました。

傍聴後の親子の会話では、「あんなに真剣に一つ一つ話し合いをしているんだね」「虫のこと、あそこまで話すことに驚いた」と、子どもらしい素直な声が聞けました。

実際に委員会の場に居させていただけたことで、「町をよりよくしたい」と尽力する大人たちの姿を目の当たりにでき、今後の成長の糧になったのではないかと思います。

取材日:令和8年8月19日／取材者:関口裕

あとながき

酷暑の夏が過ぎ、清々しい季節となりました。一方、各地では自然災害が相次いでいます。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。今号では、9月定例会で審議された内容を中心にまとめました。これからも、分かりやすく読みやすい議会だよりの作成に努めてまいります。最後までお読みいただき、ありがとうございました。（鵜野 義一）

広報公聴活動調査
特別委員会

委員 副委員 委員	長 長 員	関口 鵜野 吉岡 京極 小島 木村	裕義 嘉宏 歌織 義次 秀幸
-----------------	-------------	----------------------------------	----------------------------